

研究・調査報告書

報告書番号	担当
201	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Relationship of abdominal obesity with alcohol consumption at population scale. 一般集団におけるアルコール摂取と腹部肥満との関連について	
執筆者	
Schröder H, Morales-Molina JA, Bermejo S, Barral D, Mándoli ES, Grau M, Guxens M, de Jaime Gil E, Alvarez MD, Marrugat J	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Eur J Nutr. 2007 Oct;46(7):369-76. Epub 2007 Sep 20	
キーワード	
ウエスト、アルコールの種類、過少報告	
要 旨	
<p>背景： アルコールが高カロリーであることが、飲酒が肥満の増加に寄与することが考えられる。</p> <p>目的： アルコール摂取が肥満に影響を及ぼすかどうかを、エネルギーの過少報告がされていることを考慮して明確にする。</p> <p>方法： スペイン北東部 (Girona) において 1999 年から 2000 年に 25 歳から 74 歳スペイン人の男性 1491 人、女性 1563 名を対象に断面調査を実施した。飲酒を含む食事量は FFQ (NHANES 食物頻度アンケート) で評価した。身長、体重などの測定は正確に行われた。</p> <p>結果： アルコール消費量の平均は男性では 18.1 +/- 20.7 g/d で女性では 5.3 +/- 10.4 g/d であった。19.3% の男性と 2.3% の女性が 1 日に 3 杯以上の飲酒をしていた。 アルコール摂取量は総エネルギー摂取に男性は $P < 0.001$ 女性は $P = 0.001$ で直接関係していた。エネルギーの過少報告の割合は、男女双方で飲酒量が増えるほど有意に減った ($P < 0.001$)。摂取エネルギーの過少報告、喫煙、教育歴、活動量、エネルギー、食事の質などを調整したロジスティック回帰分析の結果、男性では 1 日に 3 ドリンク以上 (エタノール 30g 以上と定義する) アルコールを飲む集団では、腹部肥満へのリスク (オッズ比 1.80; 1.05, 3.09) と推奨されているエネルギー摂取を超えていることとも関連していた (オッズ比 1.97; 1.32, 2.93)。この集団ではわずかだが、2.13% の女性のアルコール摂取量が多かった。</p> <p>まとめ： アルコール摂取量の増加は男性において、エネルギー過少報告に関係なく、腹部肥満のリスクを高めることがわかった。</p>	